

Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Action (対策)
1) 地域の交通安全センターとして	○例年4月～6月にかけて、宿毛警察署交通課、宿毛市役所、当校で地域の小中学校に出前授業として、横断歩道の通行方法、自転車点検方法、交差点の通行方法、自転車課題走行を行い、登下校時の事故防止活動を実施。総受講者数372名	○高知県の信号機のない横断歩道での停止率が32.9%とまだまだ低く、横断中の事故を無くすためには、運転者に一時停止の周知を徹底するとともに、低年齢の内から歩行者保護の意識づけをし、安全な社会作りを目指す必要がある。	○交通安全週間中に、宿毛警察署と当校で小学校の下校時間に合わせ、下校指導を実施。自転車や徒歩で下校する児童を実際の交通状況に合わせ指導することにより通学時の安全意識を高め、また今後の出前授業にも役立つように実施時の情報を持ちかえり検討材料としている。
	○例年、宿毛工業高校2年生、3年生を対象に、宿毛警察署交通課、当校による安全講習を実施。場内コースを使用し、原付通学生だけでなく、自転車通学生等に対しても交通ルールを守る大切さについて理解を深める実施講習を行っている。総受講者数168名	○原付で通学している高校生に対しては、試験コースを設定し指導員先導による模範走行、各ポイントの説明を行いその後、一人一人コースを走行し採点、その結果を高校側に伝達している。点数の低い生徒については、補習講習を実施している。操作面以外では、並走する車のドライバーからの死角について理解し身を守る運転を心がけることが必要。	○宿毛工業高校原付講習会内で、四輪車のアクセル・ブレーキ・ハンドルを操作させ、運転席からの死角に原付や歩行者が入った場合の見え方、速度感の違い等を実際に体験。自身の安全運転だけでなく、歩行時も死角等に入らないこと、また、前後や反対車線を走行するドライバーの目線からも、日々の運転を意識することを学んでもらった。
	○南宇和セーフティーライダーズクラブ(二輪車)による月1回の安全運転走行会に会場を提供しており、二輪車の運転技術向上により、事故防止につながるよう活動をサポートしている。また、当校職員も参加することにより親睦を深め、地域の方との安全な走行の為の情報交換などを行っている。	○情報交換時に、クラブ会員の事故、違反等が一月以内になかったか、また今後の活動に活かせる内容など聞き取りしている。その中で、二輪のみならず全てのドライバーが日々安全運転について意識を高める事が重要であると認識。	○全国交通安全運動期間中に「交通安全運動実施中」歩行者の安全確保！早めのライト点灯！本日も安全運転で！と書かれた横断幕を、国道56号線に面する当校正門上に設置。地域住民の交通安全の意識向上に繋げている。
2) コーポレートガバナンスの確保 4) 消費者対応部門と他部門との有機的な連携	○令和5年1月より、各項目を職員名で答えてもらうように卒業アンケートを改良し、接遇の改善及び教習方法の向上に繋げるようにした。月ごとにアンケート結果を集計し全職員で回覧。特に改善点の必要がある場合は、幹部会で検討し各個人に改善するよう教養を行っている。	○職員名で回答してもらうことにより、良い点・悪い点を本人が自覚することができる。	○卒業アンケートに沿って、要望のある事項については、検討し短期、中期、長期にわけ導入できるものは決定し全部門に連携し、内容について共有する。
3) 従業員の積極的活動	○月に一度、教養時間を設け、指導員間で教習方法に差異がないように統一を図っている。教習のみならず高齢者講習・小中高等での講習などは地域住民の方と触れ合う場でもあり、直に声が機会であるので講習の合間等に積極的に会話するように心がけている。校内イベントについては、年間のイベント計画を作成した上で教習生の要望にも対応できるように休憩時間等に積極的にコミュニケーションを図っている。	夏(7月～9月)アイス提供 10月 ハロウィン待合室飾り付け及びお菓子配布 12月 クリスマス待合室飾り付け及びお菓子配布 2月 バレンタインデーお菓子配布 3月 ホワイトデーお菓子配布	○定期的にイベントを行い、免許取得のためだけに通学するのではなく、地元根付いた学校にするため、また高校生や合宿生にとって思い出の一つとなるように活動していく。遠方からの合宿生が地元との交流により、宿毛市の魅力を全国に発信することにより町おこしや地域の経済効果にもつなげていく。
5) 消費者への情報提供の充実・双方向の情報交換	○SNS(インスタグラム・ライン)等でお互いをフォローし、困りごとや不安があれば連絡を取れるように二人体制で管理し、素早い回答や対応を心がけている。SNSでは学校内での出来事やイベント案内。免許取得キャンペーンの案内・指導員の日常など幅広く情報を発信し、それに合わせ校内にはポスター等を掲示している。	○インスタグラム フォロワー数1773名 2023年9月現在 273名増 フォロワー履歴 2022年 6月 1400名 2022年 10月 1500名 2023年 2月 1600名 2023年 8月 1700名 ○ライン登録者数 2021年～2023年9月 378名増 総数806名	○今後も広く知ってもらうため、また消費者の方への情報発信のため一日投稿を行う。広告媒体として、今後有料コンテンツも活用し、生徒のマッチングによる増客についても検討する。また、フォロワー・登録者を増やすことにより情報拡散の効果を狙う。
6) 消費者・社会の要望を踏まえた改善	○以前から移住者支援に対する業務提携を結んでいた宿毛市・大月町はもとより、地域の移住者増加に貢献できるように、新たに三原村とも業務を提携。都会からの免許を持たない移住者が免許を取得しやすいような特別措置を実施。	○移住者免許取得 2名 2023年9月現在	○地域的に車の免許がないと通勤もしにくい環境の為、近隣病院と業務提携し、免許取得の負担軽減となるプランを設けることで病院職員採用に繋がるように相互協力している。当校もU・Iターンに関して、職員募集を行っておりますが、問い合わせはありますが、まだ採用には至っていません。